

STEP4 みんなの意見を聞いてみよう!

- 会場内に、委員のみなさんに撮影してもらった写真を一覧にして貼り出し、自由に見ていただきました。
- それぞれの委員の写真についての感想や質問など、活発な意見交換が行われました。
- グループで話し合った内容について、それぞれ代表の方に発表してもらいました。



- 最後に、景観アドバイザーの石川先生から講評していただきました。



石川 初先生
(慶應義塾大学大学院 教授)

調布市景観アドバイザーからのアドバイス



- ・様々な視点の写真ばかりで、面白いと感じました。
- ・このような景観学習を通して、景観に関心の高い市民の方が増えることが、景観や文化づくりには大切です。
- ・個々の店舗や広告物だけでなく、地域全体をアピールする姿勢が良い評価を受けていました。
- ・駅前や深大寺など、それぞれの地域の良いものをみなさんと共有していくことが大切です。

平成27年度第2回景観審議会を開催します

日時 平成27年11月17日(火) 午前10時から
会場 調布市文化会館たづくり 西館3階会議室
定員 10名(先着)

- 傍聴を希望する方は、当日午前9時30分から午前9時50分に会場にお越しください。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうぶ 景観 だより

平成27年11月10日発行

第27号



第2回調布市景観まちづくり 市民検討会を開催しました!

- 調布市では、平成27年8月に「調布市景観まちづくり市民検討会」を設置し、市民委員による地域特性を活かした魅力的な景観まちづくりについて意見交換しています。
- 本号では、平成27年10月22日(木)に開催した「第2回調布市景観まちづくり市民検討会」についてご紹介します。

第2回調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました

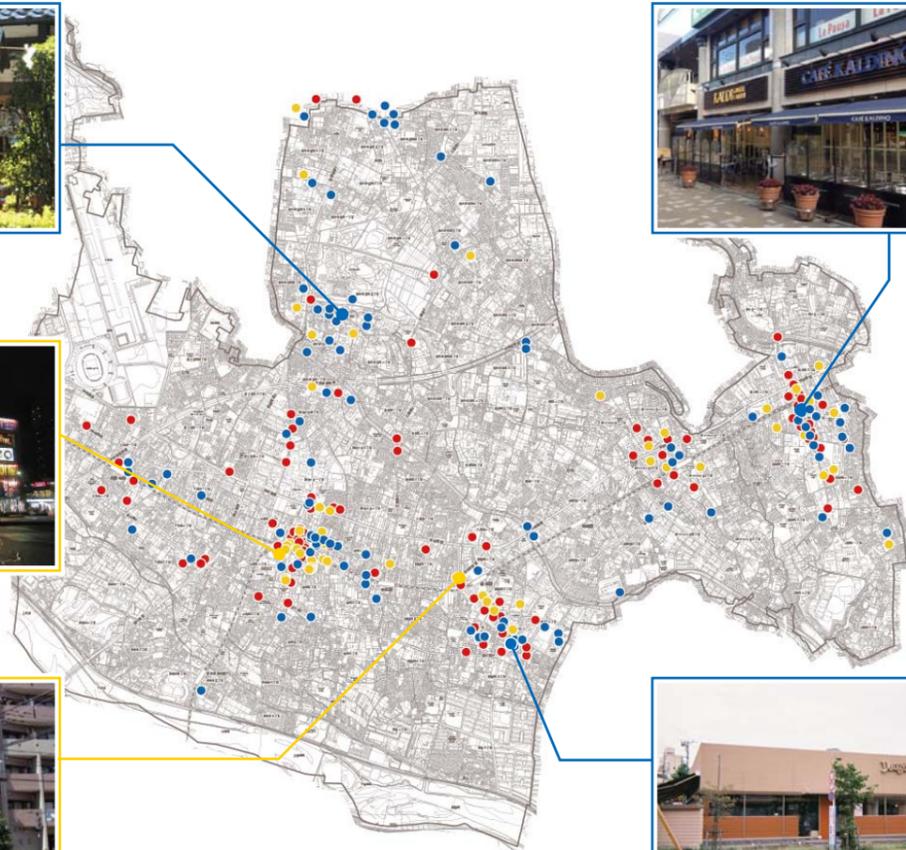
開催テーマ 「屋外広告物を見よう！」

- 10月22日（木）に開催した第2回市民検討会についてご紹介します。
- 今回は、各委員に事前に市内の気になる屋外広告物の写真を撮影してもらい、撮影理由や気づいたことを発表しあった上で、市内の屋外広告物の良い点、改善すべき点について意見交換してもらいました。



STEP1 撮影した屋外広告物の場所を地図に示そう！

- 撮影してもらった写真について、撮影場所を市内の地図にプロットしてもらいました。
- また、撮影理由について、青・赤・黄色の3色のシールを使って分類してもらいました。



凡例 ●: 良い ●: 改善すべき ●: 気になる

STEP2 最も気になる写真を紹介しよう！

- 撮影してきた写真のうち最も気になるものについて、景観テーマ、撮影理由や気づいた点をワークシートにまとめ、グループ内で発表してもらいました。



市民委員の最も気になる写真 (抜粋)



人生初の衝撃的な看板
 ・思わず立ち止まって見たくなるセンスの良さ
 ・ライトアップも綺麗で昼も夜も見たくなる



街になじんだ広告
 ・広告の目的がわかりやすい
 ・目立つ色を使わなくても印象に残るアピールの仕方



屋も夜も美しい景観に
 ・駅前の広告物の大きさや色が気になる
 ・調布市の玄関口として、広告物にも品格があるとよい

STEP3 景観の視点から屋外広告物について考えよう！

- 写真撮影の際に気づいたことや各委員の発表を受けて、市内の屋外広告物の良い点・いかすべき点、気になる点・改善すべき点について意見交換してもらいました。



市民委員からの意見 (抜粋)

●: 良い点・いかすべき点 ●: 気になる点・改善すべき点

地域のにぎわいづくり

- ユーモアが感じられる工夫のある広告物はよい
- 統一されすぎた広告物より、ほどよい生活感があるとよい
- 駅前などの看板は色彩が強く、数も多い

周辺環境との調和

- シンプルで控えめな広告物がよい
- デザインや大きさを統一しているものは見やすい
- 調布の歴史、自然を大切にしたい色づかいがよい
- 緑が多い場所では原色は合わない